

第115回委員長会議 議事録

令和元年7月28日(日)
沖縄県名護市 名護市民会館

○司会進行 塚崎 邦嗣

○部長挨拶 濱崎 公嗣

鳥取県立鳥取湖陵高等学校の濱崎公嗣と申します。4月に専門部長へ就任させていただきました。次の世代につなげる運営をしていきたいと思います。

沖縄でのインターハイは自転車競技を含めて8競技行われます。自転車競技は沖縄県総合運動公園(北中城村)でトラック、生活圏道路を利用させていただいての名護市、東村のロードと地元の協力も感謝しております。また、次年度は分散での開催を石川県で自転車競技はおこないます。そこにつなげていく運営をしたいと考えております。専門委員長会、重要な議題ございますが慎重審議をお願いいたします。

○出席者

委員長出席 37名 代理出席 6名 委任状 3名 欠席 1名
定数2/3をこえており開催成立

○議事録署名

群馬県専門委員長 八木 昇 山口県専門委員長 大久保 光次

○規約により部長が次第に従い司会進行

1. 審議事項

(1) 第115回専門委員長会議について(事務局)

○事前提出議題なし。

(2) 令和元年度事業計画、予算案、平成30年度事業報告、決算報告(事務局)

○事業計画、予算、事業報告、決算報告

第1回理事会を経てWebに掲載済み。

○予算について

JKA 公益補助事業確定、70周年記念事業等の年度をまたぐ案件がある。

○事業について

Web 掲載からの変更あり

「北海道・東北ブロック合宿」(日程変更)

1 1月2日～4日 (泉崎改修のため)

「近畿ブロック合宿」(確定)

1 0月25日(金)～27日(日) 京都府 向日町競輪場 田中良泰(京都・北桑田)

「中国・四国ブロック合宿」(確定)

8月 8日(木)～10日(土) 山口県 防府競輪場 大久保 光次(山口・防府商工)

「九州ブロック合宿」

8月 7日(水)～ 9日(金)

「第2回日韓高等学校対抗自転車競技大会(仮)(韓国・釜山)」(予定)

1 2月12(木)～13(金)

「2019年度全国高体連トラック強化合宿(専門部選抜者)」

第2回日韓高等学校対抗自転車競技大会(仮)の前に実施

「2019年度全国高体連女子トラック合宿(JKA主催・専門部共催)」

1 2月21日(土)～24日(火) または 24日(火)～27日(金)

「第3回理事会」(日程変更)

令和2年1月12日(日)から13日(祝月)

○第116回委員長会議について

東京の大学入試等で宿の確保が困難なことから日程変更を行ったが、抜本的な改善のために会場変更(大阪、名古屋等)を視野に入りたい。第4回理事会も同様。

(事務局追記：大阪で調整中)

以上、(2)承認

(3) 令和2年度年度全国高等学校総合体育大会自転車競技(石川)について(理事長)

・オリンピック開催期間以外8月10日から24日の間に実施を指定されている。

・開催期日：8月20日(木)～24日(月)

・会場：石川県・内灘町(トラック) 石川県・志賀町(ロード)

トラック：石川県立自転車競技場(周長400m)

ロード：(男子)12.2km×8周 97.6km

(女子)12.2km×4周 48.8km

・運営：実行委員会を立ち上。メンバーは専門部、地元で構成。運営は専門部が中心になり行う。(専門部より中梶、河田、高畑、阿部)

- ・予算：石川県からの補助金はゼロ。JKA 公益補助事業を利用。予算圧縮のため開会式ではなく、開始式で行う。諸会議等は内灘高校など、行政の協力で公共施設で実施し減免をお願いし使用料ゼロで行う。
- ・お願い：今回の沖縄の総体開催についても、熊本での災害で開催できなくなり沖縄で近々に開催したにもかかわらず、多大な労力とご協力で実施していただいている。分散開催となった石川の大会についても皆様のご協力をよろしくをお願いします。

以上、(3) 承認

(4) 令和元年度～令和3年度全国高等学校選抜自転車競技会についてについて

- ・熊本の開催については昨年度で終了
- ・本年度開催地を募ったが積極的な応募はなかった。
- ・詳細を調整している段階だが
 - トラック：北九州メディアドーム（福岡県・北九州市）
 - ロード：熊本県水上村市房ダム周辺（熊本県・水上村）
 - 日程：3月20日～23日で検討中（ロード、トラックの順番予定）
- ・水上村まで前年度より距離があるが、人吉まで高速、広域農道利用で前年度より移動時間短い
- ・トラック競技について、熊本競輪場の再開などと行政と今後も相談していく。

以上、(4) 承認

(5) 各専門部会より（総務・競技運営・強化育成・広報）

「総務部会」

○選抜大会について

- ・トラック総数280名 ロード140名
- ・男子ポイント・レース、男子スクラッチに安全なレースを行うために一定走力を求めたい。その為の参加基準タイムを定めたい。
 - TT：1分17秒000（電子計時）
 - 1分16秒700（手動計時）
 - IP：4分05秒000（電子計時）
 - 4分04秒700（手動計時）
 - # いずれかのタイムでよい。
 - # H30年度各種目参考で各10名程度この走力に達していない。

・制限タイムは今年度の大会、ブロック合宿の結果を認める。

Q. TTがスクラッチ、IPがポイント・レースか？

A. 両種目ともいずれかのタイムをクリアすればよい。

Q. 要項に盛り込むのか

A. これまでのTTやIP、TS、TPの制限のように別紙に盛り込む。記録と大会の関係性についても記載する。

Q. 都道府県内で出場枠を取得してもこの制限で出場できないこともあるのか。

A. タイムが切れていないために都道府県に割り振られた定数や、都道府県内で各校に割り振った定数を満たさないこともある。

以上、「総務部会」選抜参加基準タイム、参加総数について 承認

・前年度、優勝校参加枠6を廃止したい。前年度選抜優勝メンバーと当該年度メンバーが入れ替わっているため。あくまで個人の走力により特別枠を考えたい。

Q. 本年度、いきなりなくすのはどうか。本年度の選抜も前年度優勝枠がある前提で考えていた。周知がない。また、翌年度の選抜ではなく、全国総体出場権にかえてはいかがか。

A. 前年度の要項をもとにお考えと思いますが、本年度の要項はまだ発表されておらず、本年度の要項としての話なのでご承知願いたい。全国総体については現在、考えていなかったので、ご意見を踏まえて、今後の検討事項にしたい。

以上、原案について決議 賛成30都道府県 決議により前年度優勝枠廃止 承認

・開催都道府県枠について、開催地都道府県がまたがる場合は、両都道府県で各3名（計6名）とする。ただし、当該都道府県間での話し合いで枠を加減できる（計6名は変わらない）

Q. 開催都道府県にも前記参加標準タイムを設定するのか。

A. タイム制限をかける。要項へ明文化する。

- ・特別枠についてロード、トラックとも対象大会を増やす。

男子

(トラック、ロード)

全国総体、国体 ジュニア 8 位以内

(トラック)

全日本トラック ジュニア 6 位以内

JOC U17 3 位以内

(ロード)

全日本ロード ジュニア 8 位以内

U17 3 位以内

女子

(トラック、ロード)

全国総体 3 位以内

国体、都道府県 8 位以内

JOC U17 1 位以内

全日本トラック ジュニア 3 位以内

(ロード)

全日本ロード ジュニア 3 位以内

U17 1 位以内

なおトラックはトラックの成績、ロードはロードの成績のみ認める。

#例：国体 SP 1 位はトラックのみ、ロード特別枠は与えない。

- Q. これまでは、前年度選抜入賞者も含まれていたが本年度は削除か。前年度、その思いをもって走っていた選手もいる。周知期間として一年間猶予をとれないか。
- A. 個人種目ということで移行期であり認める。先ほどの総合優勝に関係するが、個人種目 1 年次で実績があれば認めることが出来ると思う。

委員長会として、前年度選抜入賞の特別枠をトラック、ロードともに残していくこととする (男子 8 位、女子 3 位)

以上、開催権枠、特別枠について承認

- ・ I P のタイム制限について 3 分 46 秒 290 (電子計時) としたい。手動計時は -0.300 秒の 3 分 45 秒 990。
- ・ 3 年間 (2016 年度から 2018 年度) の上位 20 名のタイムは久留米の 2 年間、

メディアドームの1年間で差異なし。2015年度から4秒ほどタイムが上がっている。

以上、選抜IPタイム制限 承認

○114回委員長会議での検討事項について

「総体要項の別表1のTTとIPのブロック割り振り人数について」

- ・あくまでも、ブロック大会での上位者を選考してもらう。
- ・ブロック代表選考にかかわるブロック大会上位者がブロック大会ではタイム制限を突破していないが、都道府県大会でタイム制限を突破している場合、出場権を得るという考え方。
- ・TSPとTPは、都道府県大会からタイム制限を突破していれば出場を認めるが、ブロック割当人数を超えてはならない。

○全国総体の女子参加枠について

- ・50名の総数に対して5%程度の専門部推薦（ワイルドカードとして、すべてのブロック大会からの成績上位者等）を設けるか今後検討する。

以上、全国総体関係 承認

「競技運営部会」

○提案は選抜タイム制限のみ。総務部会案件で承認されている。

○情報提供

- ・トラックのギア比制限について、専門部としての運用、UCIルールとの整合性。

「強化育成部会」

○ホープフルクリテリウム

- ・全国総体の総合上位8位に3名枠、事態があった場合は、個人ロードの成績から上位から。それによって、24名枠を満たす考え方。関東も第5回の記念で枠が割り振られる可能性があるがあくまで別枠。（事務局事後の追記：主催者より全国高体連推薦21名、関東6名）

○全国女子合宿、ブロック合宿

- ・女子は、ブロック合宿で全国女子合宿への推薦者を3～5名推薦を依頼
- ・女子合宿の日程は事業計画のとおり。

○日韓対抗

- ・12月11日から15日の派遣期間予定
- ・事前合宿（全国合宿として）を11月下旬に予定。

「広報部会」

70周年記念式典ありがとうございました。

○記念史について

- ・訂正があり申し訳ございません。
- ・誤植、誤り等情報提供をお願いいたします。事務局、または広報部会長まで8月末まで。(事務局追記：9月末でお願いします。)
- ・購入希望があれば事務局まで。送料込 3500 円。

(6) 全国高体連、JCF について

○高体連

- ・働き方改革、年間土日祝日52日休業、早朝練習禁止、平日に1日の休み、一日の練習時間は3時間以内(原則)、体罰の根絶、言葉でも暴力
- ・2020年基金について。200円の寄付のお願い、クラウドファンディングのお願い。

○JCF

・JCF改選

理事20名のうち高体連3名 常任理事：中梶、理事：中田、坂井田

- ・委員会大きく変更。競技ごとに総務、強化と別れる。その他、コンプライアンス、アンチドーピングと細分化(それぞれの競技内で仕事の細分化、縦割りの解消)
- ・ギア規制について(来年度1月改正については8月1日より動き出す)
- ・JOCはU17のみ実施。ジュニアは全日本トラック(JKA250m)でおこなう。
- ・今年はオリンピックの関係でアジア戦が10月開催。10月14日出発予定
- ・ジュニア指定選手から今の3年生を出場させる方針

○JKA 公益事業

- ・今年度、全国総体、全国合宿・全国ブロック合宿、選抜で補助をいただき事業。
- ・次年度の申請もあるが、上記に加えて日韓戦について補助申請をする。
- ・今後も日本の競技力向上、自転車競技の普及にむけて補助を利用していく。

以上、(6) 承認

(7) 機材規制検討委員会

- ・NJS 19賛成 24反対 ケイリン 10賛成 33反対
- ・NJSについて拮抗しており今後も検討をする。

以上、(7) 承認

議事録以上

上記、議事内容に相違ないことを認め署名する。

議事録署名人

八木 昇

大久保 光次